

宇部工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	日本文化	
科目基礎情報							
科目番号	83001			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	経営情報工学専攻			対象学年	専1		
開設期	4th-Q			週時間数	4		
教科書/教材	プリントを配付する。参考文献は適宜指示する。						
担当教員	赤迫 照子						
到達目標							
①日本文化に興味・関心を抱き、理解を深めることができる。 ②学び、考察したことを論理的な文章で表現できる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安 (優)	標準的な到達レベルの目安 (良)	最低限の到達レベルの目安 (可)	未到達レベルの目安(不可)		
評価項目1		日本文化への興味・関心を広く持ち、様々な角度から文化的事象を考察できる。	日本文化への興味・関心をもち、自分なりの角度から文化的事象を考察できる。	自分なりの角度から文化的事象を考察できる。	文化的事象を考察できない。		
評価項目2		理解したこと・考察したことを論理的な文章で説明できる。	理解したこと・考察したことを文章で説明できる。	理解したことを文章で説明できる。	授業で扱った内容を文章で説明できない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日本文化を学びながら、論理的な文章を作成する力を養う科目である。主に文学・語学・歴史からの視点を切り口に、日本文化の諸相を概観する。理解したこと・考察したことは文章にまとめて報告する。 「日本文化とは何か」「文化を学ぶとは何か」を考えることを通して、文化の多様性を尊重する姿勢を身につけてほしい。						
授業の進め方・方法	①文献・教材を読解し、日本文化への理解を深める。 ②理解したこと・考察したことを他者に説明できるように、文章を作成する。 ③論理的な文章を作成するために、推敲・添削の作業をする。 なお、この科目は学修単位科目のため、事前・事後学習として「演習課題」と「レポート」を課す。						
注意点	・小テストは日本語に関する問題を出題する。 ・考察を重ねた成果として、レポートを重視する。なお、小論文は「レポート」として扱う。						
授業の属性・履修上の区分							
☒ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	4thQ	9週	ガイダンス 文学概論①古代		『古事記』『日本書紀』『万葉集』を読み、古代文化の基礎知識を身につける。 レポートを作成する。		
		10週	文学概論②中古 文学概論③中世		『源氏物語』を読み、平安文化の基礎知識を身につける。 『方丈記』を読み、中世文化の基礎知識を身につける。 レポートを作成する。		
		11週	文献学① 文献学②		和本の装丁の基礎知識を身につける。 書写・印刷の歴史を理解する。 本文批評・注釈・解釈に取り組み、分析・考察したことをレポートにまとめ、発表する。		
		12週	批評を読む① 批評を読む②		日本文化に関する批評・評論を読む。 小論文を作成する。		
		13週	文学概論④近世 文学概論⑤近代		江戸の文学作品を読み、近世文化の基礎知識を身につける。 小説を読み、近代文化の基礎知識を身につける。 小論文を作成する。		
		14週	文学概論⑥現代 批評を読む③		小説・批評を読み、現代文化の基礎知識を身につける。 小論文を作成する。		
		15週	定期試験		日本文化のありかたを説明できる。		
		16週	試験返却・解説 授業のまとめ		学修の総まとめができる。		
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	レポート	発表	小テスト	合計		
総合評価割合	10	70	10	10	100		
知識の基本的な理解	10	20	5	10	45		
思考・推論・創造への適用	0	30	5	0	35		
汎用的技能【論理的思考力】	0	20	0	0	20		